

星槎道都大学

令和3年度

大学教育の成果に関するアンケート調査 結果報告

I 卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

II 就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

2021年10月



I R 課

大学教育の成果に関するアンケート調査について

調査目的

平成 30 年度卒業生に対するアンケート調査を実施し、本学の教育の学修成果が上がっているかについて検証し、教育内容・方法の改善に資することを目的とする。

本調査は、Ⅰ卒業生に対するアンケート調査とⅡ卒業生の就職先へのアンケート調査からなり、学修成果を検証した。

Ⅰ卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査方法

郵送依頼、WEB 回答または郵送回答。

(2) 調査実施時期

令和 3 年 8 月 2 日 (月) ～8 月 31 日 (火)

(3) 調査対象

平成 30 年度卒業生 (平成 30 年 9 月卒業、平成 31 年 3 月卒業)

(4) 対象人数・回答数・回答率

発送数：162 人 (戻り数 2、実対象人数 160 人)

回答数：21 人

回答率：13.0% (戻り数を考慮した実回答率：13.1%)

回答者の卒業年次別内訳

卒業年次	計	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
平成 30 年 9 月卒業生	1	1			
平成 31 年 3 月卒業生	20	7	6	4	3
計	21	8	6	4	3

(5) 現在の職業（業種）

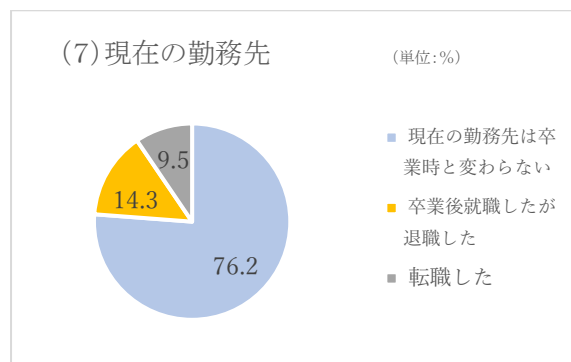
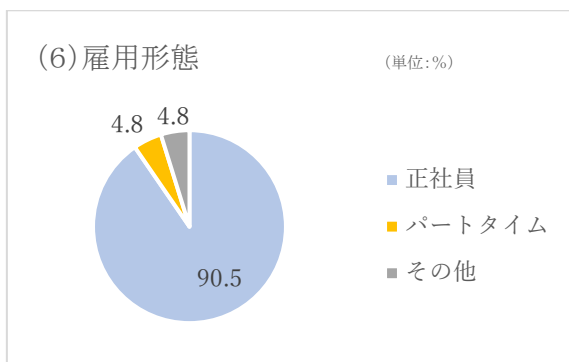
	人数	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
建設業	3	14.3				3
製造業	2	9.5	2			
情報通信業	1	4.8		1		
金融・保険業	1	4.8	1			
学術・専門・技術サービス業	1	4.8	1			
教育・学習支援業	1	4.8		1		
医療・福祉	4	19.0	1	3		
公務<国家・地方>	6	28.6	3		3	
その他	2	9.5		1	1	
計	21	100.0	8	6	4	3

※その他（印刷物デザイナー、A型事業所）

(6) 雇用形態

	人数	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
正社員	19	90.5	8	5	3	3
パートタイム	1	4.8		1		
その他	1	4.8			1	
計	21	100.0	8	6	4	3

※その他（期限付教諭）



(7) 現在の勤務先について（転職について）

	人数	%	経営学部 経営学科	社会福祉学部 社会福祉学科	美術学部 デザイン学科	美術学部 建築学科
現在の勤務先は卒業時と変わらない	16	76.2	7	3	3	3
卒業後就職したが退職した	3	14.3	1	2		
転職した	2	9.5		1	1	
計	21	100.0	8	6	4	3

2. 集計結果

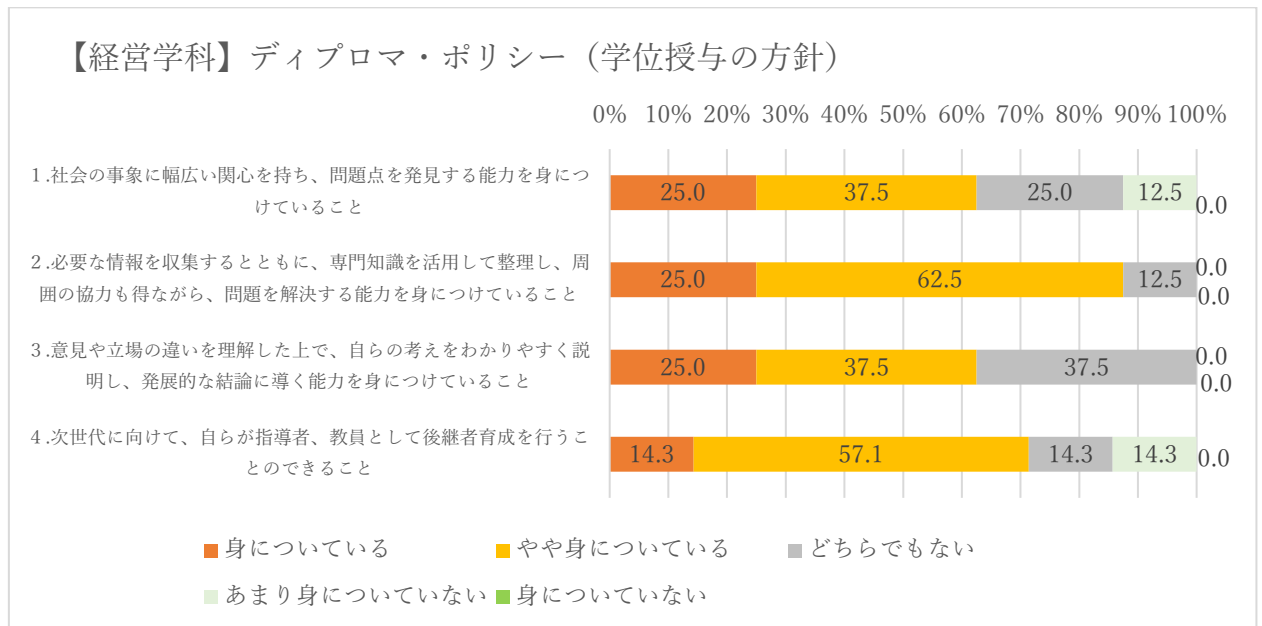
今回のアンケート調査項目は、下記の3点である。

問1. 本学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の自己評価

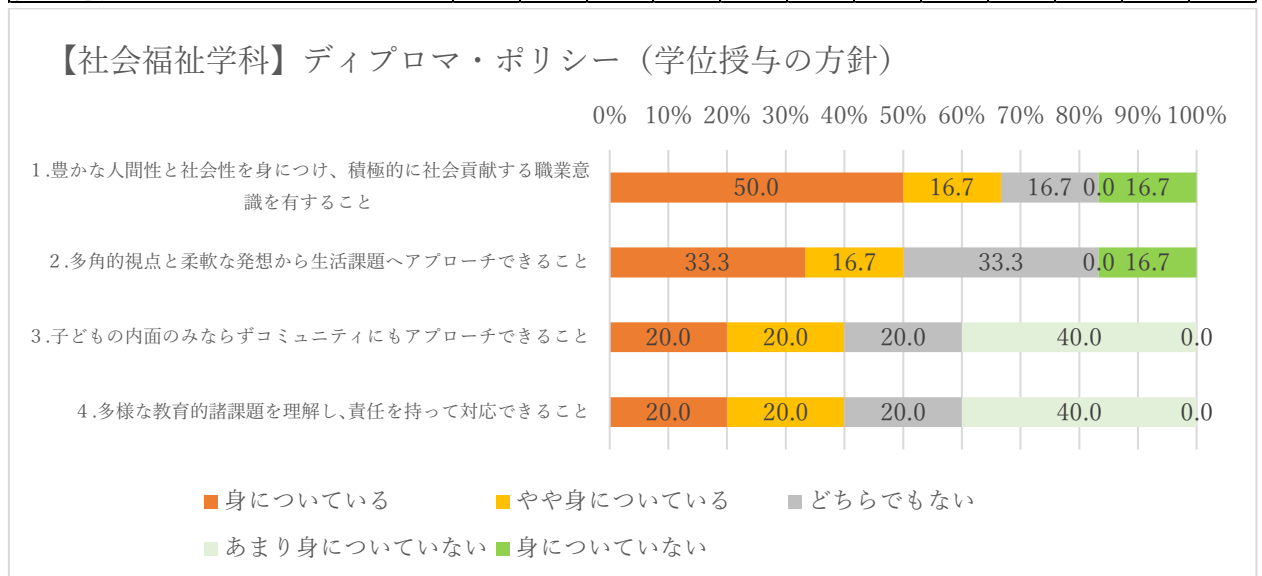
問2. 社会人基礎力の自己評価

問3. 本学に対する意見や要望

問1. 本学ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の自己評価

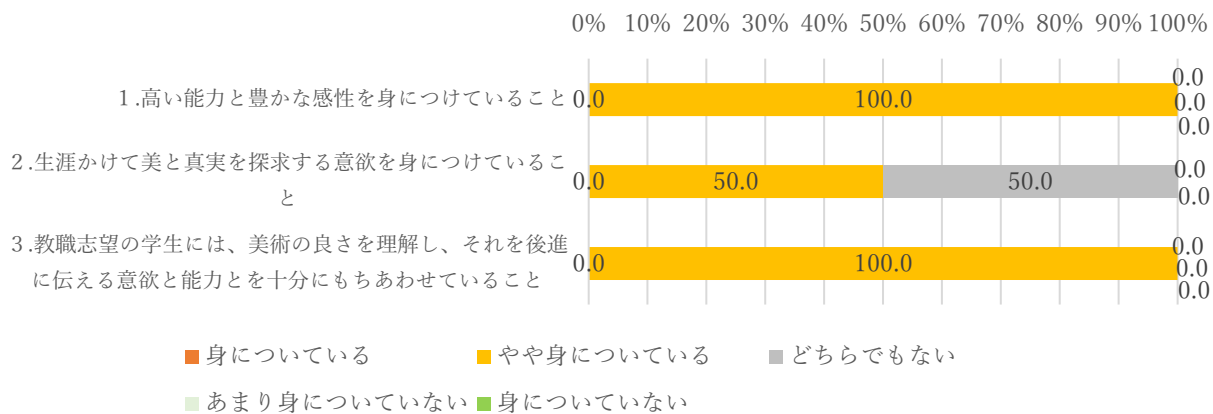


経営学科	身につけている		やや身につけている		どちらでもない		あまり身につけていない		身につけていない		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1. 社会の事象に幅広い関心を持ち、問題点を発見する能力を身につけていること	2	25.0	3	37.5	2	25.0	1	12.5	0	0.0	8	100.0
2. 必要な情報を収集するとともに、専門知識を活用して整理し、周囲の協力も得ながら、問題を解決する能力を身につけていること	2	25.0	5	62.5	1	12.5	0	0.0	0	0.0	8	100.0
3. 意見や立場の違いを理解した上で、自らの考えをわかりやすく説明し、発展的な結論に導く能力を身につけていること	2	25.0	3	37.5	3	37.5	0	0.0	0	0.0	8	100.0
4. 次世代に向けて、自らが指導者、教員として後継者育成を行うことのできる	1	14.3	4	57.1	1	14.3	1	14.3	0	0.0	7	100.0



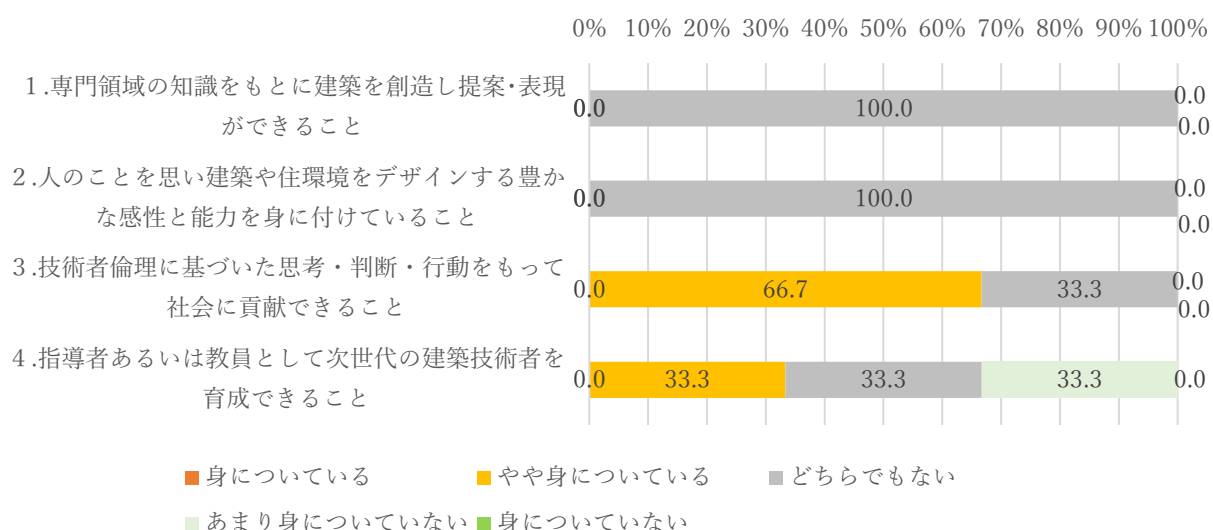
社会福祉学科	身につけている		やや身につけている		どちらでもない		あまり身につけていない		身につけていない		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1.豊かな人間性と社会性を身につけ、積極的に社会貢献する職業意識を有すること	3	50.0	1	16.7	1	16.7	0	0.0	1	16.7	6	100.0
2.多角的視点と柔軟な発想から生活課題へアプローチできること	2	33.3	1	16.7	2	33.3	0	0.0	1	16.7	6	100.0
3.子どもの内面のみならずコミュニティにもアプローチできること	1	20.0	1	20.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	5	100.0
4.多様な教育的諸課題を理解し、責任を持って対応できること	1	20.0	1	20.0	1	20.0	2	40.0	0	0.0	5	100.0

【デザイン学科】ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）



デザイン学科	身につけている		やや身につけている		どちらでもない		あまり身につけていない		身につけていない		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1.高い能力と豊かな感性を身につけていること	0	0.0	4	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	100.0
2.生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけていること	0	0.0	2	50.0	2	50.0	0	0.0	0	0.0	4	100.0
3.教職志望の学生には、美術の良さを理解し、それを後進に伝える意欲と能力とを十分にもちあわせていること	0	0.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0

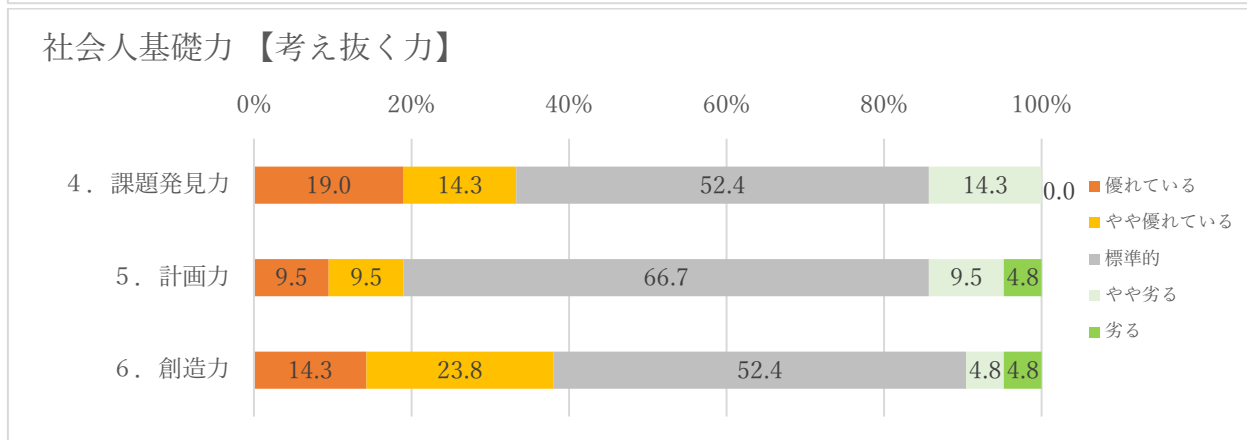
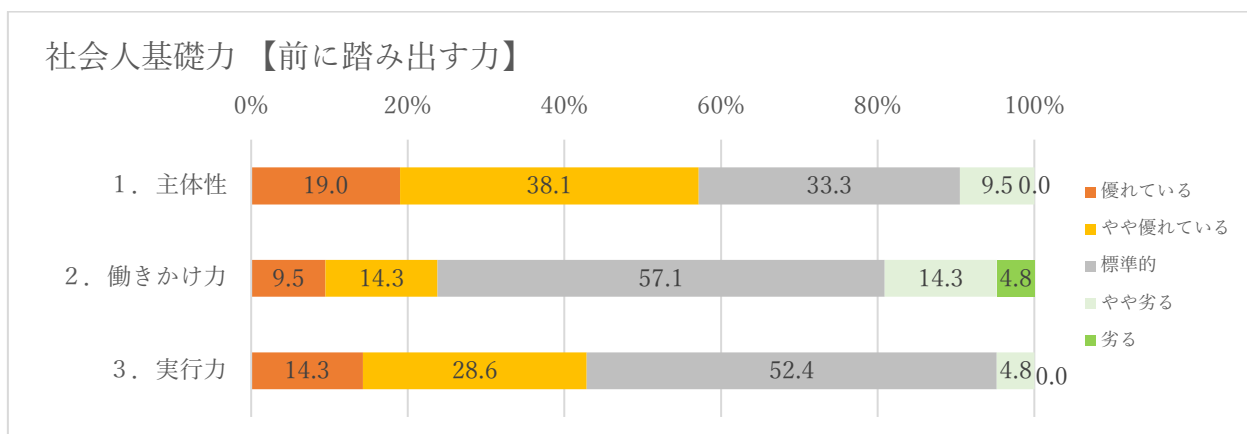
【建築学科】ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

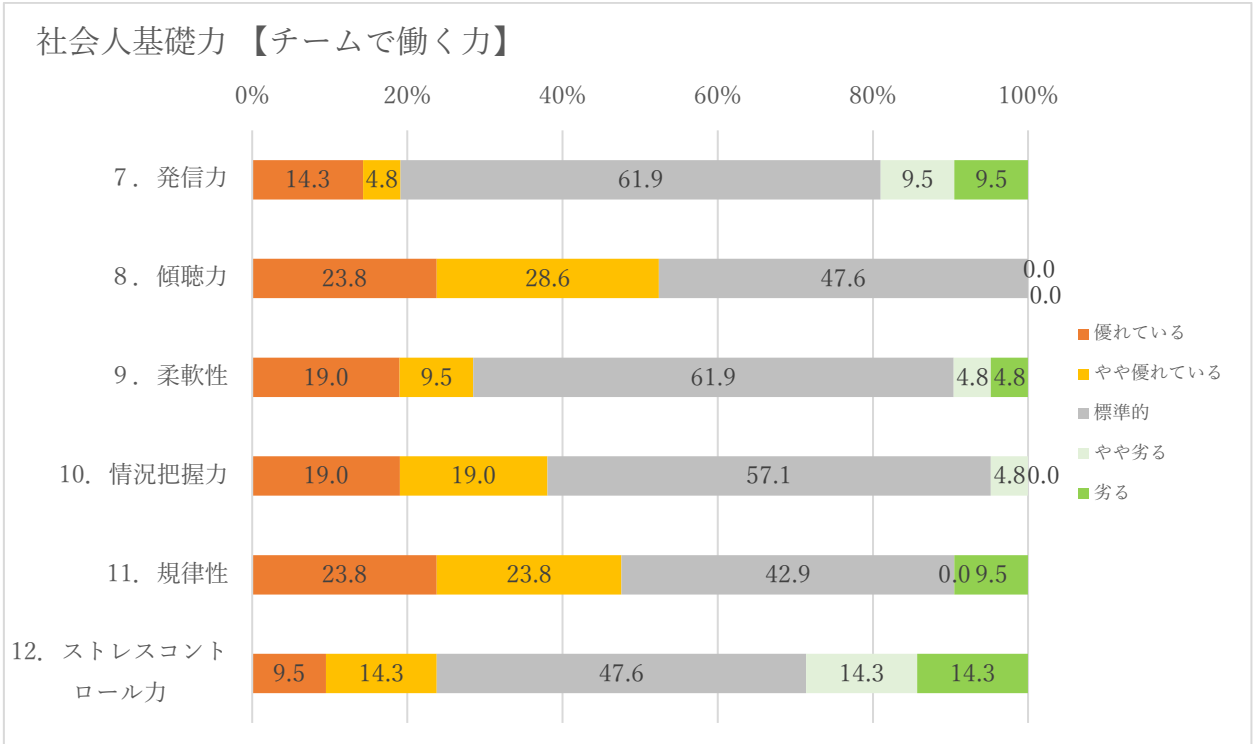


建築学科	身についている		やや身についている		どちらでもない		あまり身についていない		身についていない		総計	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
1. 専門領域の知識をもとに建築を創造し提案・表現ができること	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	3	100.0
2. 人のことを思い建築や住環境をデザインする豊かな感性と能力を身に付けていること	0	0.0	0	0.0	3	100.0	0	0.0	0	0.0	3	100.0
3. 技術者倫理に基づいた思考・判断・行動をもって社会に貢献できること	0	0.0	2	66.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	3	100.0
4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること	0	0.0	1	33.3	1	33.3	1	33.3	0	0.0	3	100.0

卒業後3年経過した卒業生に、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）が身についているか自己評価していただいた。「身についている」と「やや身についている」を暖色系、「あまり身についていない」と「身についていない」を寒色系、「どちらでもない」を灰色で表した。ほとんどのディプロマ・ポリシーで「身についている（含やや身についている）」と評価しており、学習成果はあがっていることが分かる。社会福祉学科の「3. 子どもの内面のみならずコミュニティにもアプローチできること」、「4. 多様な教育的諸課題を理解し、責任を持って対応できること」と建築学科の「1. 専門領域の知識をもとに建築を創造し提案・表現ができること」、「2. 人のことを思い建築や住環境をデザインする豊かな感性と能力を身に付けていること」、「4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること」の自己評価は相半ばしている。

問2. 社会人基礎力の自己評価





能力	能力要素	優れている		やや優れている		標準的		やや劣る		劣る		総計	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
前に踏み出す力	1. 主体性	4	19.0	8	38.1	7	33.3	2	9.5	0	0.0	21	100.0
	2. 働きかけ力	2	9.5	3	14.3	12	57.1	3	14.3	1	4.8	21	100.0
	3. 実行力	3	14.3	6	28.6	11	52.4	1	4.8	0	0.0	21	100.0
考え抜く力	4. 課題発見力	4	19.0	3	14.3	11	52.4	3	14.3	0	0.0	21	100.0
	5. 計画力	2	9.5	2	9.5	14	66.7	2	9.5	1	4.8	21	100.0
	6. 創造力	3	14.3	5	23.8	11	52.4	1	4.8	1	4.8	21	100.0
チームで働く力	7. 発信力	3	14.3	1	4.8	13	61.9	2	9.5	2	9.5	21	100.0
	8. 傾聴力	5	23.8	6	28.6	10	47.6	0	0.0	0	0.0	21	100.0
	9. 柔軟性	4	19.0	2	9.5	13	61.9	1	4.8	1	4.8	21	100.0
	10. 状況把握力	4	19.0	4	19.0	12	57.1	1	4.8	0	0.0	21	100.0
	11. 規律性	5	23.8	5	23.8	9	42.9	0	0.0	2	9.5	21	100.0
	12. ストレスコントロール力	2	9.5	3	14.3	10	47.6	3	14.3	3	14.3	21	100.0

卒業生の自己評価を見ると、標準的以上の回答者は、9割以上が7項目、8割以上が4項目、7割以上が1項目となっている。本学の卒業生は、社会人基礎力が標準的以上と自己評価している。特に、【チームで働く力】が優れている。

II 令和3年度 星槎道都大学 就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査方法

郵送依頼、郵送回答

(2) 調査実施時期

令和3年8月2日(月)～8月31日(火)

(3) 調査対象

平成30年度卒業生の就職先企業等

(4) 対象数(発送数)・回答数・回答率

産業分類	発送数		回答数		在職者あり		在職者なし		回答率 (回答数/発送数)
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	
D 建設業	19	15.3%	12	20.3%	12	23.5%	0	0.0%	63.2%
E 製造業	3	2.4%	2	3.4%	2	3.9%	0	0.0%	66.7%
G 情報通信業	3	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
H 運輸・郵便業	3	2.4%	2	3.4%	1	2.0%	1	12.5%	66.7%
I 卸売・小売業	22	17.7%	8	13.6%	7	13.7%	1	12.5%	36.4%
J 金融・保険業	2	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0%
K 不動産・物品賃貸業	7	5.6%	1	1.7%	1	2.0%	0	0.0%	14.3%
L 学術・専門・技術サービス業	3	2.4%	2	3.4%	2	3.9%	0	0.0%	66.7%
M 宿泊・飲食サービス業	3	2.4%	1	1.7%	0	0.0%	1	12.5%	33.3%
N 生活関連サービス・娯楽業	9	7.3%	4	6.8%	3	5.9%	1	12.5%	44.4%
O 教育・学習支援業	9	7.3%	5	8.5%	4	7.8%	1	12.5%	55.6%
P 医療・福祉	20	16.1%	11	18.6%	10	19.6%	1	12.5%	55.0%
Q 複合サービス事業	7	5.6%	5	8.5%	5	9.8%	0	0.0%	71.4%
R サービス業〈他に分類されない〉	6	4.8%	2	3.4%	2	3.9%	0	0.0%	33.3%
S 公務〈国家・地方〉	8	6.5%	4	6.8%	2	3.9%	2	25.0%	50.0%
合計	124	100.0%	59	100.0%	51	100.0%	8	100.0%	47.6%

産業分類は、厚生労働省の分類による。今回の調査では、A 農業・林業、B 漁業、C 鉱業、採石業、砂利採取業、F 電気・ガス・熱供給・水道業、T 分類不能の産業が調査対象外であった。

(5) 在職者数

ご回答いただいた企業(団体)の本学出身在職者数は次表の通りである。

在職者人数	事業者数	割合(%)
0	7	12.1%
1～4	39	67.2%
5～9	6	10.3%
10～14	3	5.2%
15～19	3	5.2%
20以上	0	0.0%

※1社(事業所)が、在職者数非公表。

※在職者数には、調査対象年度以外の卒業生を含む。

平均在職者数：3.4人

在職者がいる事業所だけの場合 平均在職者数：3.8人

2. 集計結果

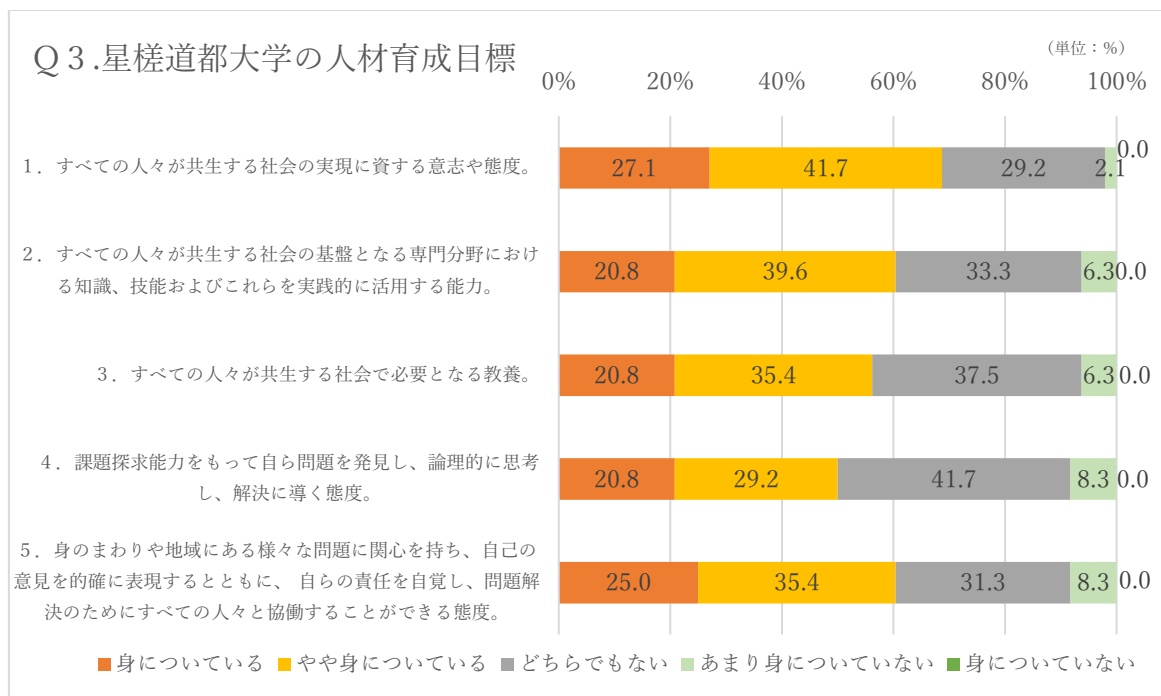
今回のアンケート調査項目は、下記の4点である。

- Q 3. 本学の人材育成目標 [ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)] の評価
- Q 4. 本学の卒業生に対する社会人基礎力の観点からの評価
- Q 5. 社会人基礎力以外で役に立つ教育
- Q 6. 本学に対する意見や要望

Q 3. 星槎道都大学では、下記のような人材の育成を目標に教育しておりますが、本学卒業生はどの程度身につけていると思われますか。

(5 : 身につけている、4 : やや身につけている、3 : どちらでもない、2 : あまり身につけていない、1 : 身につけていない)

	身につけている		やや身につけている		どちらでもない		あまり身につけていない		身につけていない		計	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
1. すべての人々が共生する社会の実現に資する意志や態度。	13	27.1	20	41.7	14	29.2	1	2.1	0	0.0	48	100.0
2. すべての人々が共生する社会の基盤となる専門分野における知識、技能およびこれらを実践的に活用する能力。	10	20.8	19	39.6	16	33.3	3	6.3	0	0.0	48	100.0
3. すべての人々が共生する社会で必要となる教養。	10	20.8	17	35.4	18	37.5	3	6.3	0	0.0	48	100.0
4. 課題探求能力をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度。	10	20.8	14	29.2	20	41.7	4	8.3	0	0.0	48	100.0
5. 身のまわりや地域にある様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に表現するとともに、自らの責任を自覚し、問題解決のためにすべての人々と協働することができる態度。	12	25.0	17	35.4	15	31.3	4	8.3	0	0.0	48	100.0



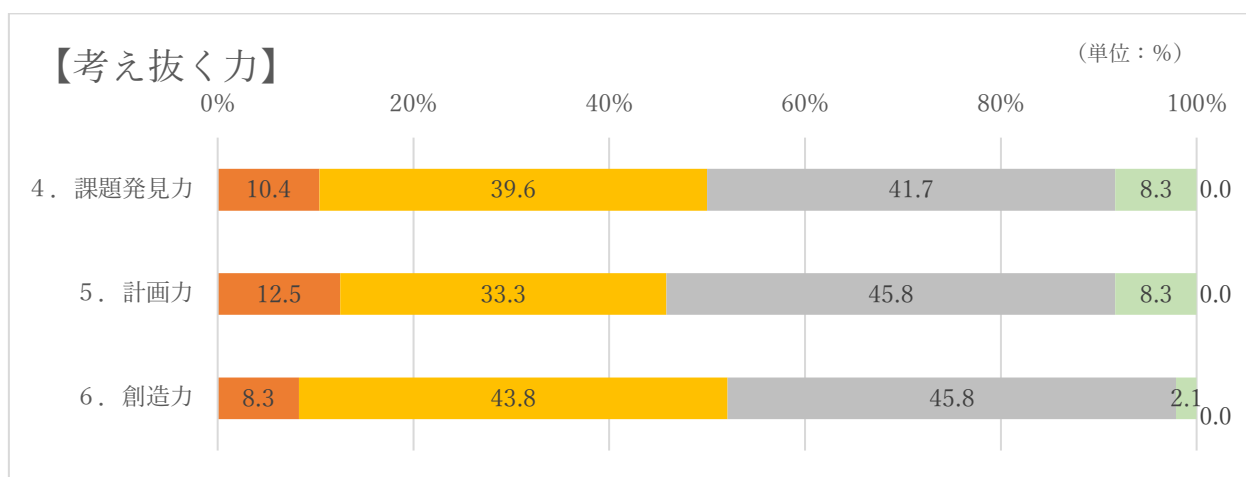
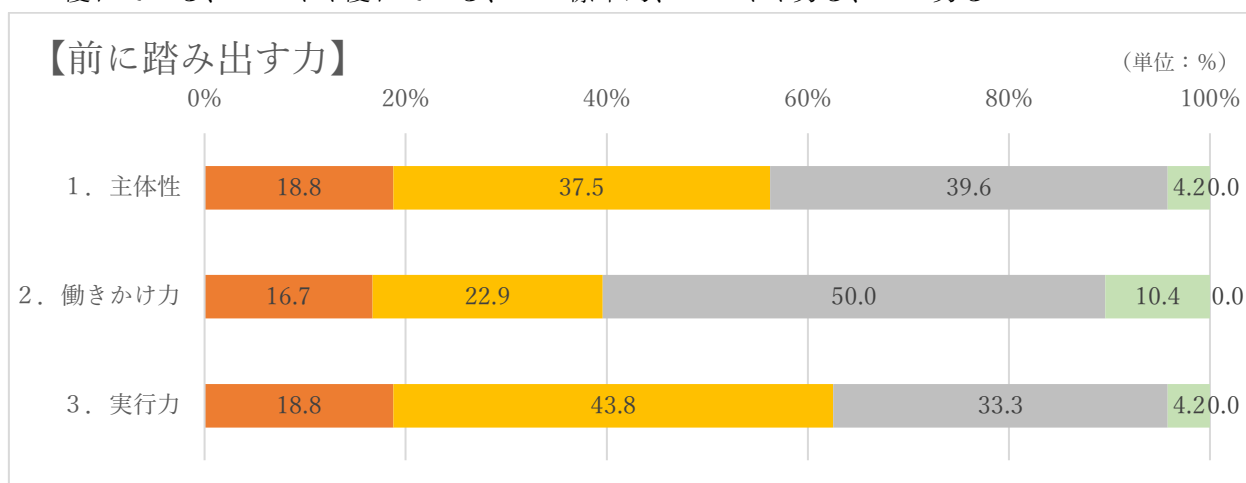
雇用者の評価は、全ての項目で「身につけている」と「やや身につけている」の合計が50%以上となっている。“身につけていない”の評価がなかったものの1割未満だが“あまり身につけていない”という厳しい評価も見られる。

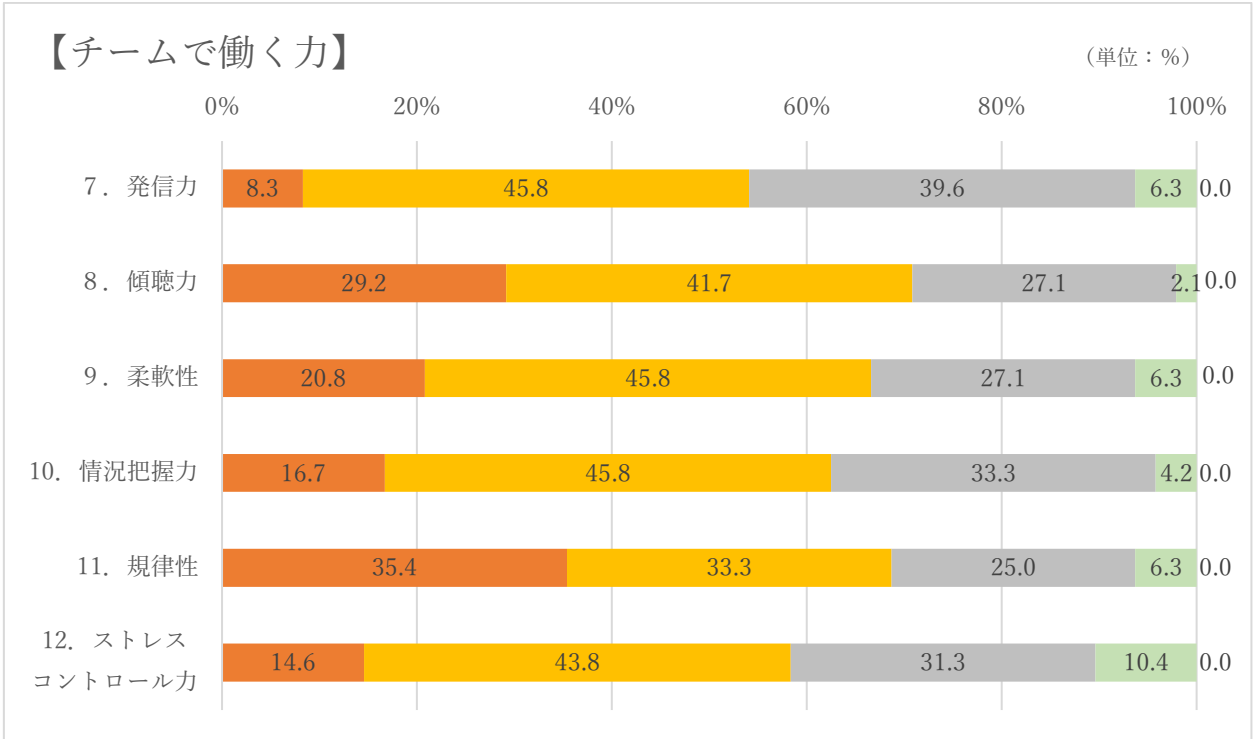
Q 4. 星槎道都大学出身者を他の社員（職員）と比較して社会人基礎力の観点から評価してください。

（5：優れている、4：やや優れている、3：標準的、2：やや劣る、1：劣る）

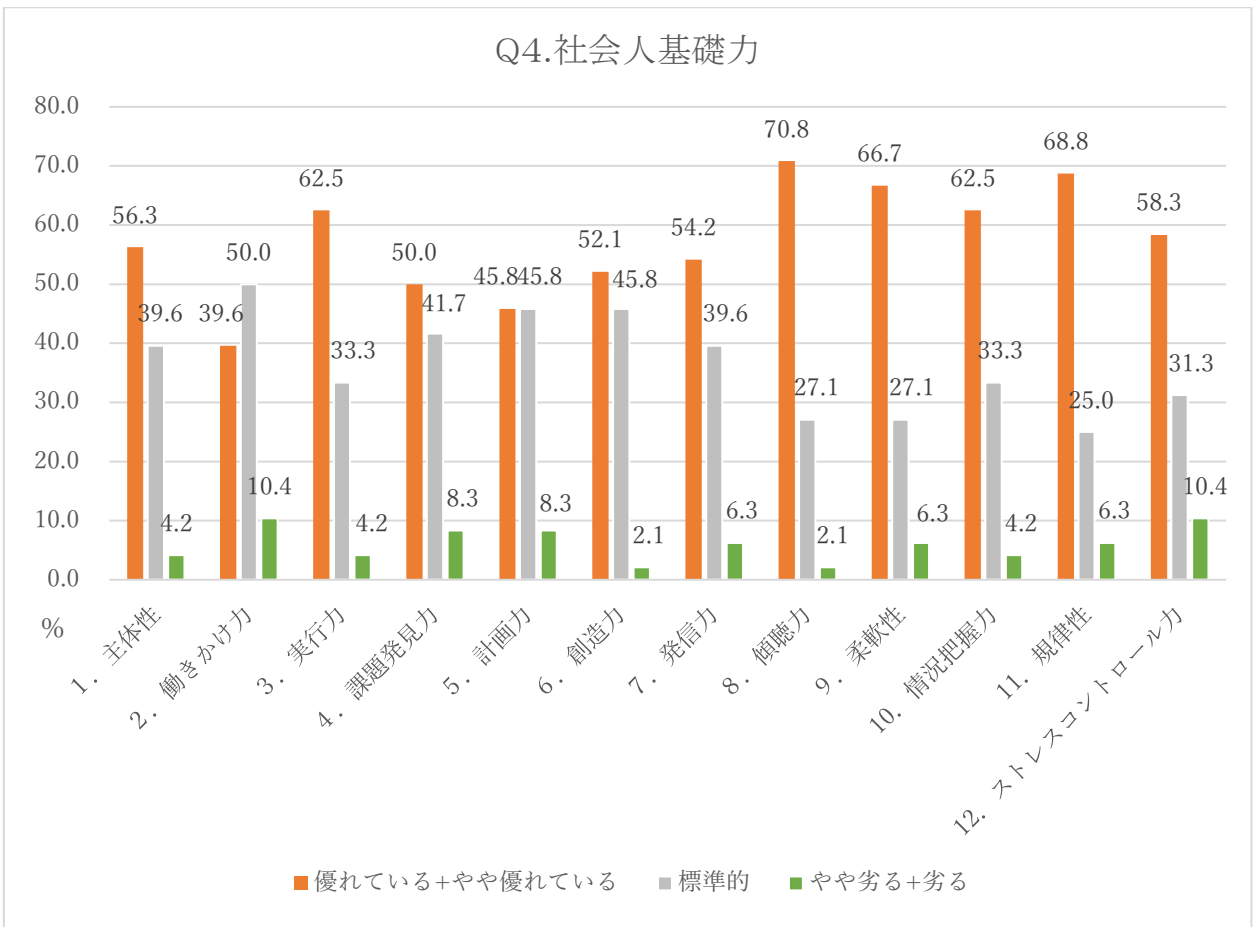
	前に踏み出す力						考え抜く力						チームで働く力											
	1. 主体性		2. 働きかけ力		3. 実行力		4. 課題発見力		5. 計画力		6. 創造力		7. 発信力		8. 傾聴力		9. 柔軟性		10. 状況把握力		11. 規律性		12. ストレスコントロール力	
	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%	回答数	%
身についている	9	18.8	8	16.7	9	18.8	5	10.4	6	12.5	4	8.3	4	8.3	14	29.2	10	20.8	8	16.7	17	35.4	7	14.6
やや身についている	18	37.5	11	22.9	21	43.8	19	39.6	16	33.3	21	43.8	22	45.8	20	41.7	22	45.8	22	45.8	16	33.3	21	43.8
どちらでもない	19	39.6	24	50.0	16	33.3	20	41.7	22	45.8	22	45.8	19	39.6	13	27.1	13	27.1	16	33.3	12	25.0	15	31.3
あまり身についていない	2	4.2	5	10.4	2	4.2	4	8.3	4	8.3	1	2.1	3	6.3	1	2.1	3	6.3	2	4.2	3	6.3	5	10.4
身についていない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0	48	100.0

■：優れている、■：やや優れている、■：標準的、■：やや劣る、■：劣る





「優れている+やや優れている」、「標準的」、「やや劣る+劣る」の3つに集約。

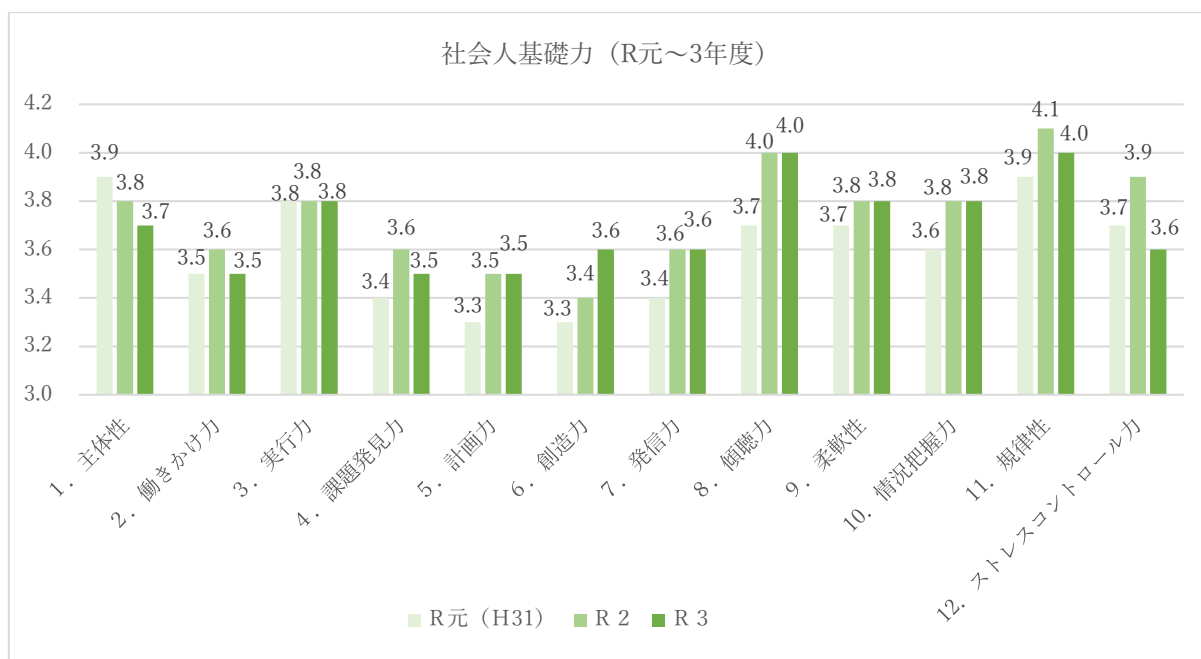


「チームで働く力」の「8. 傾聴力」「9. 柔軟性」「10. 状況把握力」「11. 規律性」「12. ストレスコントロール力」と「前に踏み出す力」の「3. 実行力」は、本学卒業の評価は高く、「優れている」と「やや優れている」の合計は、標準的とやや劣る、劣るに比べて多い。「前に踏み出す力」の「2. 働きかけ力」と「考え抜く力」の「4. 課題発見力」「5. 計画力」「6. 創造力」「7. 発信力」の評価は、標準以上が大部分を占めるが、「優れている」と「やや優れている」の合計は、標準的とほぼ同じ比率である。他の項目に比べるとやや弱い。本学の卒業生は、チームで働く力の評価は高いが、考え抜く力はやや弱い傾向にある。

過去3年間の社会人基礎力の評価についての確認。

優れている=5、やや優れている=4、標準的=3、やや劣る=2、劣る=1とし平均を計算し、表にすると下記の通りとなる。

	前に踏み出す力			考え抜く力			チームで働く力					
	1. 主体性	2. 働きかけ力	3. 実行力	4. 課題発見力	5. 計画力	6. 創造力	7. 発信力	8. 傾聴力	9. 柔軟性	10. 状況把握力	11. 規律性	12. ストレスコントロール力
R元 (H31)	3.9	3.5	3.8	3.4	3.3	3.3	3.4	3.7	3.7	3.6	3.9	3.7
R2	3.8	3.6	3.8	3.6	3.5	3.4	3.6	4.0	3.8	3.8	4.1	3.9
R3	3.7	3.5	3.8	3.5	3.5	3.6	3.6	4.0	3.8	3.8	4.0	3.6



過去3年間を見ると、チームで働く力の評価は高いが、考え抜く力はやや弱い傾向にある。

Q5. 社会人基礎力以外でどのような教育が入社後に役立つと感じますか。

社会人基礎力は、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」であり、新卒者は社会人基礎力を身に付けていることが必要であるが、実際に働く職場の企業状況によってさらに求めるスキルがあると思われる。ご意見の中から、キーワードを抜き出したのが下記の表である。社会人基礎力にプラスして、入社後に必要な教育は、全産業共通なものがある一方、産業分類ごとや個別企業によって特色が出ている。コミュニケーション能力と回答する企業等がもっとも多かった。

厚生労働省による産業分類	キーワード			
D 建設業	コミュニケーション能力	社会人としての責任	自身の価値・必要性を高める教育	
D 建設業	コミュニケーション能力			
D 建設業	CAD の操作及び機能の理解	PC スキル教育 (Excel)		
D 建設業	一般教養	一般常識	倫理観	
D 建設業	(社会人基礎力)	人としての正直さ	チャレンジ精神	資格を取ることの大切さ
D 建設業	大局観			
D 建設業	生きる力を身に付ける教育			
D 建設業	資格取得への取り組み			
D 建設業	(社会人基礎力)			
D 建設業	部活動等による集団行動			
E 製造業	PC スキル教育			
E 製造業	ビジネスマナー教育	PC スキル教育		
H 運輸、郵便業	コミュニケーション能力	協調性		
H 運輸、郵便業	(社会人基礎力)	コミュニケーション能力	社会・対人関係力	
I 卸売、小売業	精神面の強さを育む			
I 卸売、小売業	コミュニケーション能力			
I 卸売、小売業	チャレンジ精神	協調性		
I 卸売、小売業	コミュニケーション能力			
K 不動産、物品賃貸業	自己理解			
L 学術・専門・技術サービス業	就職を希望する業界や応募する会社の研究	学んだ社会人基礎力を実践するための自発的な社会経験(アルバイトやボランティア含む)		
N 生活関連サービス・娯楽業	公衆衛生	健康教育		
N 生活関連サービス・娯楽業	自己分析講座			
N 生活関連サービス・娯楽業	大局観			
O 教育、学習支援業	コミュニケーション能力	質問力	文章表現力	保護者対応力
O 教育、学習支援業	コミュニケーション能力			
O 教育、学習支援業	コミュニケーション能力			
O 教育、学習支援業	コミュニケーション能力			
P 医療、福祉	コンプライアンス教育	健康管理	言葉による確認を都度行う	
P 医療、福祉	社会的なモラル	仕事における役割と責任		
P 医療、福祉	社会人基礎力			
P 医療、福祉	ビジネスマナー			
P 医療、福祉	広く様々な経験ができるようなカリキュラム			
P 医療、福祉	ホスピタリティ教育			
P 医療、福祉	組織力			
P 医療、福祉	コミュニケーション能力			
P 医療、福祉	意識構造学			
Q 複合サービス事業	人間力	チームワーク	礼儀	
Q 複合サービス事業	ビジネスマナー	PC スキル教育		
R サービス業	道徳			
R サービス業	コミュニケーション能力			
S 公務(国家・地方)	マネジメント	リーダーシップ		

Q 6. 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

教育に関するご意見としては、「一般教養を身につける教育」「最低限のビジネスマナーを身につける教育」「在学時に様々な経験をさせる」「医療・介護・福祉に対して志ある学生教育」「星槎道都大学の三つの約束“人を認める”・“人を排除しない”・“仲間を作る”という「共感理解教育」を受けた優秀な人材の輩出」といったご意見・ご要望がありました。

就職に関しては、「引き続き採用したい」、「校内での企業説明会や見学会をWEB含めて積極的に開催してほしい」とのご意見・ご要望がありました。

以上

卒業生に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

※Q1～Q5は、選択肢の数字に○をつけてください。

Q1 卒業年次を教えてください。

1. 平成30年9月卒業生 2. 平成31年3月卒業生

Q2 所属していた学部・学科を教えてください。

1. 経営学部経営学科 2. 社会福祉学部社会福祉学科 3. 美術学部デザイン学科 4. 美術学部建築学科

Q3 現在の職業(業種)を教えてください。

1. 農業林業 2. 漁業 3. 鉱・採石・砂利業 4. 建設業 5. 製造業 6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業 8. 運輸・郵便業 9. 卸売・小売業 10. 金融・保険業 11. 不動産・物品賃貸業
12. 学術・専門・技術サービス業 13. 宿泊・飲食サービス業 14. 生活関連サービス・娯楽業
15. 教育・学習支援業 16. 医療・福祉 17. 複合サービス事業 18. サービス業(他に分類されない)
19. 公務(国家・地方) 20. その他()

Q4 現在職業についている方は、勤務先での雇用形態について教えてください。

1. 正社員 2. 契約社員 3. 派遣社員 4. パートタイム 5. その他()

Q5 卒業後職業についた方は、勤務先について教えてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わらない 2. 転職した 3. 卒業後就職したが退職した

Q6 星槎道都大学では、平成27年度に入学した学生には、次のようにディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)を定めています。それらは身についたと思われますか。

出身学科のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針)に該当する評価に●をつけてください。

(5身についている、4やや身についている、3どちらでもない、2あまり身についていない、1身についていない)

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)		評価
経営学科	1. 社会の事象に幅広い関心を持ち、問題点を発見する能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 必要な情報を収集するとともに、専門知識を活用して整理し、周囲の協力も得ながら、問題を解決する能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 意見や立場の違いを理解した上で、自らの考えをわかりやすく説明し、発展的な結論に導く能力を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	4. 次世代に向けて、自らが指導者、教員として後継者育成を行うことのできる事	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
社会福祉学科	1. 豊かな人間性と社会性を身につけ、積極的に社会貢献する職業意識を有すること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 多角的視点と柔軟な発想から生活課題へアプローチできること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 子どもの内面のみならずコミュニティにもアプローチできること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	4. 多様な教育的諸課題を理解し、責任を持って対応できること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
デザイン学科	1. 高い能力と豊かな感性を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 生涯かけて美と真実を探究する意欲を身につけていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 教職志望の学生には、美術の良さを理解し、それを後進に伝える意欲と能力とを十分にもちあわせていること	○5 ○4 ○3 ○2 ○1

《裏面に続く》

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）		評価				
建築学科	1. 専門領域の知識をもとに建築を創造し提案・表現ができること	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 人のことを思い建築や住環境をデザインする豊かな感性と能力を身に付けていること	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 技術者倫理に基づいた思考・判断・行動をもって社会に貢献できること	○5	○4	○3	○2	○1
	4. 指導者あるいは教員として次世代の建築技術者を育成できること	○5	○4	○3	○2	○1

Q7 ご自身の社会人基礎力を評価してください。

該当する評価に●をつけてください。（5優れている、4やや優れている、3標準的、2やや劣る、1劣る）

※「社会人基礎力」とは、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念です。

能力評価（社会人基礎力）		評価				
前に踏み出す力	1. 主体性 物事に進んで取り組む力 （例）指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	○5	○4	○3	○2	○1
	2. 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力 （例）「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	○5	○4	○3	○2	○1
	3. 実行力 目的を設定し確実に行動する力 （例）言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	○5	○4	○3	○2	○1
考え抜く力	4. 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 （例）目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	○5	○4	○3	○2	○1
	5. 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 （例）課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	○5	○4	○3	○2	○1
	6. 創造力 新しい価値を生み出す力 （例）既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	○5	○4	○3	○2	○1
チームで働く力	7. 発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力 （例）自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	○5	○4	○3	○2	○1
	8. 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力 （例）相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	○5	○4	○3	○2	○1
	9. 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力 （例）自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	10. 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 （例）チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	11. 規律性 社会のルールや人との約束を守る力 （例）状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	○5	○4	○3	○2	○1
	12. ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力 （例）ストレスを感じることも、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	○5	○4	○3	○2	○1

Q8 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

就職先企業等に対する大学教育の成果に関するアンケート調査

Q1 貴社(団体)名をご記入願います。

企業名:

Q2 貴社(団体)に勤務する 星槎道都大学出身者 の人数について、おわかりになる範囲でご記入ください。

人

本学卒業生が在籍している場合:Q3~Q6、在籍者がいない場合:Q5、Q6 をご回答ください。

Q3 星槎道都大学では、下記のような人材の育成を目標に教育しておりますが、本学卒業生はどの程度身につけていると思われますか。

評価: 5 身につけている、4 やや身につけている、3 どちらでもない、2 あまり身につけていない、1 身につけていない

知識・能力・態度	評価
1. すべての人々が共生する社会の実現に資する意志や態度。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
2. すべての人々が共生する社会の基盤となる専門分野における知識、技能およびこれらを実践的に活用する能力。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
3. すべての人々が共生する社会で必要となる教養。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
4. 課題探求能力をもって自ら問題を発見し、論理的に思考し、解決に導く態度。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
5. 身のまわりや地域にある様々な問題に関心を持ち、自己の意見を的確に表現するとともに、自らの責任を自覚し、問題解決のためにすべての人々と協働することができる態度。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1

Q4 星槎道都大学出身者を他の社員(職員)と比較して社会人基礎力の観点から評価してください。

該当する評価に●をつけてください。(5 優れている、4 やや優れている、3 標準的、2 やや劣る、1 劣る)

※「社会人基礎力」とは、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念です。

能力評価(社会人基礎力)		評価
前に踏み出す力	1. 主体性 物事に進んで取り組む力 (例) 指示を待つのではなく、自らやるべきことを見つけて積極的に取り組む。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	2. 働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力 (例) 「やろうじゃないか」と呼びかけ、目的に向かって周囲の人々を動かしていく。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1
	3. 実行力 目的を設定し確実に行動する力 (例) 言われたことをやるだけでなく自ら目標を設定し、失敗を恐れず行動に移し、粘り強く取り組む。	○5 ○4 ○3 ○2 ○1

◀裏面に続く▶

能力評価(社会人基礎力)		評価				
考え抜く力	4. 課題発見力 現状を分析し目的や課題を明らかにする力 (例) 目標に向かって、自ら「ここに問題があり、解決が必要だ」と提案する。	○5	○4	○3	○2	○1
	5. 計画力 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 (例) 課題の解決に向けた複数のプロセスを明確にし、「その中で最善のものは何か」を検討し、それに向けた準備をする。	○5	○4	○3	○2	○1
	6. 創造力 新しい価値を生み出す力 (例) 既存の発想にとらわれず、課題に対して新しい解決方法を考える。	○5	○4	○3	○2	○1
チームで働く力	7. 発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力 (例) 自分の意見をわかりやすく整理した上で、相手に理解してもらうように的確に伝える。	○5	○4	○3	○2	○1
	8. 傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力 (例) 相手の話しやすい環境をつくり、適切なタイミングで質問するなど相手の意見を引き出す。	○5	○4	○3	○2	○1
	9. 柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力 (例) 自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	10. 状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力 (例) チームで仕事をするとき、自分がどのような役割を果たすべきかを理解する。	○5	○4	○3	○2	○1
	11. 規律性 社会のルールや人との約束を守る力 (例) 状況に応じて、社会のルールに則って自らの発言や行動を適切に律する。	○5	○4	○3	○2	○1
	12. ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力 (例) ストレスを感じるがあっても、成長の機会だとポジティブに捉えて肩の力を抜いて対応する。	○5	○4	○3	○2	○1

Q5 社会人基礎力以外でどのような教育が入社後に役立つと感じますか。

Q6 星槎道都大学に対するご意見やご要望等がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。